

平成 29 年度横須賀市商店街調査報告書

【お問合せ先：横須賀市経済部商業・市街地振興課 商業振興担当 TEL 046-822-8286】

1 この調査は、市内商店街の現状や課題を把握し、今後の商業施策に活かすことを目的として、平成 19 年度から毎年度実施しており、今回は第 11 回目の調査となります。

また、商店街団体の負担軽減を図るため「詳細調査」は 3 年度に 1 回を目安とし、それ以外の年度は商店街団体の加入状況や空き店舗数など、商店街の基礎的な状況を把握する「簡易調査」を実施しています。（今年度は「簡易調査」）

2 調査の対象

商店会等の商店街団体全 82 団体(平成 29 年 6 月現在)を調査の対象としました。昨年度の調査後から解散があったため団体総数は昨年度より減少しています。

3 調査の方法

調査票は郵送により配布し、回答は郵送または F A X により回収しました。（一部聞き取りによる回答も実施。）

4 調査の期日

平成 29 年 6 月 1 日現在で実施しました。

5 回収の状況

82 団体からの回収数は 66 票、回収率 80.5%となりました。
(昨年度：回収率 90.4%)

6 報告書中の表記

回答の構成比は小数第 2 位を四捨五入しているため、各構成比の合計は必ずしも 100%にはなりません。また、複数回答の質問では合計が 100%を超えることがあります。

7 商店街団体の基本特性

回答した 66 団体の基本特性(組織形態、組織規模)の分布は、次のとおりとなっています。

(1) 組織形態

66 団体の内訳は、振興組合(9 団体 : 13.6%)、協同組合(4 団体 : 6.1%)、一般社団法人(1 団体 : 1.5%)、任意団体(52 団体 : 78.8%)となっており、任意団体が大多数を占めています。

組織形態	団体数	構成比
振興組合	9	13.6%
協同組合	4	6.1%
一般社団法人	1	1.5%
任意団体	52	78.8%
合計	66	100.0%

(参考) 昨年度

団体数	構成比
9	12.0%
4	5.3%
0	0.0%
62	82.7%
75	100.0%

(2) 組織規模(会員数)

会員数の内訳は、20 店舗未満(27 団体 : 40.9%)、20~49 店舗(21 団体 : 31.8%)、50~99 店舗(14 団体 : 21.2%)、100 店舗以上(4 団体 : 6.1%)となっています。会員数が 49 店以下の、比較的小規模の商店街が大多数(72.7%)を占めています。

会員数	団体数	構成比
20 店舗未満	27	40.9%
20~49 店舗	21	31.8%
50~99 店舗	14	21.2%
100 店舗以上	4	6.1%
合計	66	100.0%

(参考) 昨年度

団体数	構成比
28	37.4%
27	36.0%
16	21.3%
4	5.3%
75	100.0%

II 調査の結果

1 商店街団体の会員の状況

(1) 会員数

市内の商店街団体に加入している会員の合計は、2,373 店舗となっています。

1 商店街団体あたりの平均会員数は、36.0 店舗です。

(2) 未加入店舗数

商店街団体に加入しない未加入店舗の合計は、241 店舗となっています。

1 商店街団体あたりの平均未加入店舗数は、3.7 店舗です。

(3) 未加入率

商店街団体に加入しない未加入店舗の比率は、9.2%となっています。

$$241 \text{ 店舗} \div (2,373 \text{ 店舗} + 241 \text{ 店舗}) = 9.2\%$$

(参考) 昨年度

$$346 \text{ 店舗} \div (2,720 \text{ 店舗} + 346 \text{ 店舗}) = 11.3\%$$

(4) 商店会員の構成

商店会員のうち不動産オーナーを除いた割合は、66.0%となっています。

なお、この割合は、本項目に回答のあった団体のみを集計し、計算しています。

2 空き店舗の状況

(1) 空き店舗数

市内の商店街にある空き店舗の合計は、168 店舗です。

1 商店街あたりの平均空き店舗数は、2.5 店舗です。

(2) 空き店舗率

市内全域の空き店舗率は、6.0%となっています。

$$\frac{168 \text{ 店舗}}{\text{(空き店舗数)}} \div \frac{(2,373 \text{ 店舗} + 241 \text{ 店舗} + 168 \text{ 店舗})}{\text{(加入店舗数)} \quad \text{(未加入店舗数)} \quad \text{(空き店舗数)}} = 6.0\%$$

(参考) 昨年度

$$\frac{231 \text{ 店舗}}{\text{(空き店舗数)}} \div \frac{(2,720 \text{ 店舗} + 346 \text{ 店舗} + 231 \text{ 店舗})}{\text{(加入店舗数)} \quad \text{(未加入店舗数)} \quad \text{(空き店舗数)}} = 7.0\%$$

3 商店街の景況

現在の景気状況（昨年度同期との比較）

現在の商店街の景況を昨年度と比較し、昨年度と同様の景況であれば全団体が変わらないという回答になるはずですが、しかし、「悪くなっている」という回答が18.2%、「やや悪くなっている」という回答が31.8%で、合わせて50.0%の商店街が昨年度に比べて景況が悪くなったと回答しています。また、「変わらない」という回答は42.4%と合わせると昨年同様9割以上の団体が景気の停滞を感じていることが窺えます。一方で、「良くなっている」、「やや良くなっている」という回答がそれぞれ1.5%（1団体）あり、活路を見出し前年度より景況が良くなっていると感じている商店街もあることがわかります。

（参考）昨年度

項目	団体数	構成比(%)	団体数	構成比(%)
良くなっている	1	1.5%	0	0.0%
やや良くなっている	1	1.5%	4	5.3%
変わらない	28	42.4%	29	38.7%
やや悪くなっている	21	31.8%	24	32.0%
悪くなっている	12	18.2%	13	17.3%
無回答	3	4.5%	5	6.7%
合計	66	100.0%	75	100.0%

4 現在の活動状況

現在の商店街の活動状況については、「新たな事業を企画するなど、活発に活動している」や、「毎年恒例の事業(イベントや売出しなど)のみで活動しており、停滞傾向である」など、イベント等の商店街活動を実施している団体は48.5%と約半数の団体が行っています。一方、「街路灯やアーケード等の維持管理のみを行っており、他の事業は行っていない」と回答した商店街団体が40.9%あり、現状の活動維持で精一杯であることが窺えます。

（参考）昨年度

項目	団体数	構成比(%)	団体数	構成比(%)
新たな事業を企画するなど、活発に活動している	11	16.7%	13	17.3%
毎年恒例の事業(イベントや売出しなど)のみで活動しており、停滞傾向である	21	31.8%	22	29.3%
街路灯やアーケード等の維持管理のみを行っており、他の事業は行っていない	27	40.9%	30	40.0%
特に活動しておらず、休止状態である	6	9.1%	9	12.0%
無回答	1	1.5%	1	1.3%
合計	66	100.0%	75	100.0%

5 商店街の将来見通し

商店街の将来に対する見通しについて、「運営は順調であり、特に大きな不安はない」との回答は 3.0%と、大多数の団体が運営に何らかの課題を抱えていることがわかります。

「課題はあるが現状を維持していきたい」という回答が 68.2%で多数を占めました。一方で「今後、活動休止や解散も想定している」という回答は 22.7%で、会員数の減少など組織力の低下に伴い、共同施設の維持管理が難しいなどの理由から、「存続は厳しく、他商店街との統合も検討したい」という回答は 4.5%あり、約 3 割の団体に存続について課題を感じていることが分かります。

(参考) 昨年度

将来見通し	団体数	構成比 (%)	団体数	構成比 (%)
運営は順調であり、特に大きな不安はない	2	3.0%	1	1.3%
課題はあるが現状を維持したい	45	68.2%	47	62.7%
存続は厳しく、他商店街との統合も検討したい	3	4.5%	4	5.3%
今後、活動休止や解散も想定している	15	22.7%	16	21.3%
無回答	1	1.5%	7	9.3%
合 計	66	100.0%	75	100.0%

6 商店街の法人化について

「法人化する方向で、今後の方向性を検討している」という回答は 5 団体 (7.6%) でした。「法人化するつもりはない」という回答は 45 団体 (68.2%) あり、高い数値であることがわかります。主な理由としては、店舗の減少や店主の高齢化のほか、資産を持たない、法人化によって増加する事務や支出に耐えられないという意見がありました。

(参考) 昨年度

項目	団体数	構成比 (%)	団体数	構成比 (%)
既に法人団体	14	21.2%	13	17.3%
法人化に向け準備を進めている	0	0.0%	0	0.0%
法人化する方向で、今後の方向性を検討している	5	7.6%	5	6.7%
法人化するつもりはない	45	68.2%	48	64.0%
無回答	2	3.0%	9	12.0%
合 計	66	100.0%	75	100.0%

7 商店街のシニア・子育て世帯を対象にした取り組み

独自に何らかの活動をしている商店街は少なく、スタンプ事業などシニア(高齢者)を対象にした取り組みを行っている団体が5団体(7.6%)でした。また、子育て世帯を対象にした取り組みを行っている団体が2団体(3.0%)でした。どちらとも実施していない団体が61団体(92.4%)を占めましたが、その中には、各店舗や町内会でこのような取り組みを行っているため商店街としては取り組んでいないという意見もありました。

(参考) 昨年度

項目	団体数	構成比(%)	団体数	構成比(%)
シニアを対象とした取り組み	5	7.6%	10	13.3%
子育て世帯を対象とした取り組み	2	3.0%	4	5.3%
取り組み無し	61	92.4%	59	78.7%
無回答	0		8	10.7%

※複数回答可の質問の為、構成比が100.0%になりません。

8 今後の商店街の将来像について

今回の調査で、将来像について回答のあった団体は49団体でした。その内訳は、先行き不安が23団体、現状維持が8団体、先行き期待が2団体、新しい方策を行ってきたい団体が10団体、世代交代が順調に進んでいる団体が6団体でした。

9 市への意見等

今回の調査で、意見等自由記入欄に記入のあった件数は9件でした。

その内訳は、市への提案・提言が3件、活動状況に関するものが4件、ご意見が2件でした。